

DUCTILE TIMES

「エア花見」という言葉をご存じでしょうか。

スマートフォンやパソコンなどで桜の画像や動画を見たり、桜にまつわるグッズを用いたりして、屋内で桜を楽しむ新しいお花見のスタイルのことです。

屋外で行う通常の花見とは異なり、天候の影響を受けず、花粉症の心配がない、大がかりな準備や場所取りが不要、人混みが避けられるなどのメリットがあり、今では春の定番ニュースとしてテレビや雑誌にも取り上げられるようになっていきます。

360度動画などで人気の名所を巡ってみるのも面白そうですね

DUCTILE TIMES編集部

DUCTILE TIMESに関する 重要なお知らせ

DUCTILE TIMESは、2022年4月からメールでの配信サービスといたします。

登録は下記メールアドレス、またはQRコードからご登録いただけますようお願い申し上げます。詳細は同封の「メール配信サービスのご案内」をご覧ください。

(登録用メールアドレス)

Kbt_g.dmwg@Kubota.com



登録専用
QRコード

パイプ・イン・パイプ工法 PN形ダクタイトイル鉄管のご紹介

水道管を布設する際、一般的には道路掘削などを行って施工しますが、市街地や密集した住宅地、軌道や河川の横断などの状況によっては、**路面を開削せずに水道管を布設**することができます。(非開削工法)

非開削工法には①推進工法②さや管内推進工法③パイプ・イン・パイプ工法④トンネル・シールド内配管工法の4種類があり、現場状況に合わせて工法を選択が可能です。※②と③を総称しパイプ・イン・パイプ工法ということもあります。

今回は、その中から③パイプ・イン・パイプ工法についてご紹介します。弊社では、パイプ・イン・パイプ工法の製品としてGX・NS形と同等の離脱防止機能を備えたPN形ダクタイトイル鉄管(呼び径300~1500)をラインアップしています。

PN形は耐震継手構造により軟弱地盤や大きな地盤変動が予想される地域でも非開削での管路更新・耐震化計画にお役立ていただけます。

また、PN形ダクタイトイル鉄管では押込工法(さや管と新管の口径差が小さい)と持込工法(押込工法より急曲線、長距離の施工が可能)があり、状況により使い分けることができます。

ご興味ございましたら、弊社営業担当者までお気軽にお問合せ下さい。



<PN形ダクタイトイル鉄管の継手構造>

施工情報システムを利用された工事業者様の声



室蘭市水道部様発注「チマイベツ系送水管(仲町輪西側)改良(その1)工事」の水道工事現場で実際に施工情報システムを使用いただいた(株)ユニオン建設様からコメントをいただきましたのでご紹介いたします。

今までは、現場で作成したチェックシートを事務所で清書しておりましたが、本システムを使用し、スマートフォン上から配管情報を入力、送信することで、日報やチェックシート、管割図が自動作成されるので事務処理時間の短縮ができました。

操作性については、今回、GX形ダクタイトイル鉄管の呼び径250、350の二条配管を同時に施工していく現場で、慣れは必要でしたがスムーズに操作できました。今後、機能の拡張などにも期待したいです。

(北海道室蘭市 株式会社ユニオン建設 上戸鎖次長様)



伊達市建設部上下水道課様が発注しました「西通り線外配水管布設工事(GX形ダクタイトイル鉄管呼び径300×70m)」の水道工事現場において、施工情報システムを試験的に利用しました。

これまでは、一日の施工終了後に事務所に戻り、現場で記入したチェックシートを清書しておりました。施工情報システムを利用することで、現場にチェックシートなどの紙媒体を持ち込む煩わしさが解消され、さらに、チェックシートだけではなく日報や管割図も自動作成することができるので、書類作成時間を短縮することができ、事務作業の簡素化に繋がりました。

今後も機能拡張や省人化に繋がる製品、システムの開発を期待しております。

(北海道伊達市 株式会社ギケン 傳様)